



～ 次代に向けた企業価値創造へのチャレンジ ～

DyDoグループについて

●グループの概要

- DyDoグループは、「こころとからだに、おいしいものを。」のスローガンのもと、ダイドードリンクが担う国内飲料事業を中核事業とし、ドリンク剤・美容ドリンク等のOEMを展開する医薬品関連事業、フルーツデザートゼリーのたらみが担う食品事業を展開
- 2016年にトルコ・マレーシアへ進出し、海外飲料事業を強化

●業績・財務の状況(2018年1月期)

- 売上高1,726億円、営業利益48億円
(売上構成)
 - ・国内飲料事業 : 73.4%
 - ・海外飲料事業 : 10.7%
 - ・医薬品関連事業 : 5.8%
 - ・食品事業 : 10.1%
- 総資産1,711億円、純資産909億円、金融資産822億円の安定的財務基盤

海外飲料事業・医薬品関連事業・
食品事業について

●成長を牽引する海外飲料事業

- 日本DyDoの高品質へのこだわりを武器に、トルコ、マレーシア、ロシア、中国でエリア特性に合わせた事業を展開
- 売上高構成比率の高いトルコにおいては、国内の需要増に対応できる体制を整備し、リラ安を追い風とした輸出事業の拡大で、着実に成長

●高い営業利益率を誇る医薬品関連事業

- ドリンク剤受託製造(OEM)に特化したビジネスを展開
- 高い開発能力と品質管理で業界トップクラスの実績
- 10%を超える高い営業利益率を確保
- 2020年には群馬に関東工場を新設により、競争力をさらに強化

●業界トップシェアの「たらみ」が担う食品事業

- フルーツデザートゼリーの製造・販売で業界トップシェア
- 健康・美容をキーワードに、高付加価値商品の提供で利益成長へ

国内飲料事業について

●ダイドードリンクを中心とする国内飲料事業

- 全国に28万台の自販機を展開。
- セグメント売上高の80%以上が自販機によるもので、商品別ではコーヒーが50%以上を占めるなど、業界でもユニークなポジションを確立
- 自販機は「自分たちの店舗」と位置付け、ルーレット機能やおしゃべり機能など「買い物の楽しみ」を提供するとともに、環境への配慮を徹底
- 缶コーヒーは香料無添加とブレンドにこだわり、「本物のおいしさ」をお届け
- ファブレス経営で、キャッシュインカム先行型のビジネスであり、盤石な財務基盤を構築
- 全国28万台の自販機をネットワーク化し、自販機を皆様の毎日の生活に欠かせない「社会インフラ」に進化させるべく、新たなチャレンジを継続

成長の方向性、配当方針

●ヘルスケア領域の獲得により新たな市場を創造

- 日本国内の高齢長寿化、国内外の健康志向の高まりは大きな潮流。この外部環境の変化を機会と捉え、ヘルスケア領域の事業を獲得することで、さらに新たな市場を創造をめざす。「こころとからだに、おいしいものを。」持続的にお届けする企業グループとしてチャレンジを続ける

●高い評価を受ける株主優待制度

- 現在は将来の成長に向けた投資のフェーズと位置付け、配当については1株当たり60円の安定配当を継続
- 株主優待として、3,000円相当の自社グループ商品の詰め合わせを、100株以上保有の株主さまへ年2回進呈するほか、すべての株主さまへ、専用サイトでグループ企業の商品を優待価格で販売